

パブリックコメントの中間まとめについて

■清須市総合計画案（中間まとめ）の内容に対して、お寄せいただいたご意見などについて、

- ① 中間まとめの項目別に分類
- ② それぞれのご意見に、「対応の方向」及び「対応の内容」を記載
- ③ 分類項目ごとに表を作成

いただいたご意見は、基本的には、原文のまま記載しますが、明らかな誤字や一部表現について、修正を行わせていただいたものがあります

1通で複数の趣旨のご意見をお寄せいただいた場合は、分解して記載しています。項目別の分類にあたっては、ご意見の内容によっては、複数項目に関係するものなどもありますが、もっとも関係すると思われる項目に分類を行いました。

■「対応の方向」の記号説明

記号	内 容
A	中間まとめと同趣旨又は賛同しているご意見
B	中間まとめを修正し、ご意見の趣旨を盛り込むべきもの
C	中間まとめの構成や語句等の修正は反映できないが、趣旨を今後の参考とするもの
D	具体的にご意見として、参考とするもの

■ 意見提出通数（平成 24 年 2 月 3 日現在）

提出通数		7 通
提 出 方 法	窓口提出	7 通
	郵便	0 通
	ファクシミリ	0 通
	電子メール	0 通

■意見総数（平成 24 年 2 月 3 日現在）

意 見 件 数		7 件
内 容	肺炎球菌ワクチン接種の公費助成	2 件
	歩道のバリアフリー化	1 件
	高齢者福祉	1 件
	コミュニティバス	3 件

2 健康で思いやりのあふれるまちづくり

今後、少子高齢化がさらに進むと社会保障や経済活動の問題にとどまらず、国や社会の存立基盤に関わって行くと言われてしています。こうした中、子育て環境を整備し、市民一人ひとりが健康で生きがいに満ちた長寿社会を実現することが重要です。また、障害の有無や年齢にかかわらず、その人らしい自立した生き方ができる地域づくりや介護体制を充実させる必要があります。そのためには、個人や家庭、地域、ボランティア、NPO（民間非営利組織）、企業等がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に協力していく必要があります。

また、消費者犯罪から市民を守る取組み、青少年の健全育成に向けた取組みについても、変化の大きい現代社会にあって誰もが穏やかな日常生活を営む上で、その重要性がますます高まっています。

さらに、地域主権改革の流れの中で、自らの地域は自らの活動によって支え、まちづくりに取り組むという姿勢が求められており、自治活動・コミュニティ活動やボランティアなど行政でも企業でもない新しい公共の担い手を育てていくことの重要性が増すとともに、性差を問わずに社会参加ができる男女共同参画社会の実現も欠かすことができません。

このような中で、市民の誰もが、生涯を通じて元気で、働き、学び、楽しみ、社会に貢献することができる地域社会が形成できるよう、下記の施策を通じて「健康で思いやりのあふれるまちづくり」を推進します。

意見(基本的に原文のまま)	対応の方向	対応の内容(案)
高齢者の死亡原因は、肺炎でなくなる率が高くなっています。他の病気にかかっても抵抗力の弱いおとしよりが、肺炎を併発して死亡するケースが多い。肺炎が原因で命を落とさぬように、肺炎球菌ワクチンの公費助成して受診しやすくしてほしい。	A	高齢者肺炎球菌ワクチンへの公費助成は、平成24年度からの導入を目標に取り組んでおります。
肺炎球菌ワクチンを受ける際、高額で困りますので、補助して下さい。一度ワクチンを受けると5年間持続した効果があるといわれています。医療費を下げることもつながりますので補助の制度をつくって下さい。	A	同上
高齢者の歩行・障害者用電動車の安全について、歩道の段差が多く、転倒防止のためにも、早急に工事計画を作り取組んでほしい。	D	高齢者や障害者に配慮した歩道整備の要望として、今後の市の道路整備の参考とさせていただきます。
高齢者がいつでも元気でいられることは大切なこと。移動権・交通権を保障する。買物や運動(プール・アスレチック)や文化行事・美術鑑賞に接する。戸外に出る。 イ 東山動物園・名古屋港水族館・博物館・ポストン美術館の入場料を割引く ロ 福祉カードであしがるバスを無料にする ハ 買物難民といわれる特定地域には買物専用あしがるバスを運行する	B	イのご意見につきましては、福祉カード交付事業として、名古屋港水族館・名古屋港ポートビル・南極観測船ふじの入場料割引がありますのでご利用ください。 ロのご意見につきましては、受益と負担の公平性の観点から、現時点で導入の考えはありません。 ハのご意見につきましては、あしがるバスの運行経路や料金等を決定する地域公共交通会議に伝え検討していただくとともに、新たな行政課題として捉えることといたします。

4 便利で快適に暮らせるまちづくり

清須市は、密集した市街地が多く、日常生活の中で市内にゆとりの場を求めることは必ずしも容易ではありません。

また、市街地についても、狭い道路や小規模な建築物の密集する地区が多く、防災面やゆとりある快適な暮らしの実現という観点から多くの課題があり、市街地の整備や都市景観の整備に向けた取組みが求められています。

また、市内の交通網についても幹線道路を含めて交通量に見合った幅員や車線数が確保できず、道路混雑を招くケースが多発しています。特に近年は、名古屋市を中心とする中部圏の産業活動が活発になっていることから、交通量はますます増加することが見込まれています。

清須市は名古屋市に隣接する大都市圏の一翼を担う都市であり、これにふさわしいゆとりと利便性をもった都市基盤の整備は、ますます大きな課題となっています。

このような問題意識のもとで、市民と事業者にとって高い利便性と快適性をもったまちをつくるために下記の施策を推進し、これを通じて「便利で快適に暮らせるまちづくり」を推進します。

意見(基本的に原文のまま)	対応の方向	対応の内容(案)
清須市内や周辺には、大型・中型ショッピングの進出で、小さな商店がどんどん減っている。高齢者世帯では近くで買物するところがなくなり、地域的に買物難民になっていると聞いています。このような、高齢者が自宅からバスに乗れば自由に買物ができるように、巡回バス(あしがるバス)の本数を増やし、利便性を考えて下さい。又、低所得層の高齢者については無料バスを発行するようお願いいたします。	C	交通弱者の移動の利便性確保のため、コミュニティバスの運行実証実験を今年度まで実施しました。平成24年度からは本格運行を実施いたしますが、運行経路や便数については、現在、地域公共交通会議で検討されており、いただいたご意見を同会議に伝え、利便性の向上を図りたいと考えております。 無料バスにつきましては、受益と負担の公平性の観点から、現時点では導入の考えはありません。
高齢者や障害のある人が外出するとき、巡回バスや福祉バスが必要です。いまの運行回数では少なく利用しにくいので、3便から5便にふやしてほしい。また高齢者は無料にしてほしい。	C	同上
証明書(カード)を見せれば、せめて福祉バス(あしがるバス)には無料で乗れるようにされたい。又、運行本数も1時間に1本にするようにされたい。	C	同上